TanTan
Nonprofit Organization

京都府福知山市昭和町77　谷本ビル1階
TEL.0773-45-3507
MAIL　tantan@kyoto-tantan.net
HP　http://kyoto-tantan.net/

式典主催
特定非営利活動法人 京都丹波・丹後ネットワーク

協賛
S.S.G（ステージス.タッフ.ガジマル）、株式会社むらいち福知山サンホテル、日本防災士会京都支部
近畿労働金庫、京都北都信用金庫、但馬信用金庫、京都丹後鉄道、きょうとＮＰＯセンター
災害時連携ＮＰＯ等ネットワーク、ＮＰＯ法人きょうとＮＰＯセンター、災害時連携ＮＰＯ等ネットワーク

組織診断は Panasonic NPO/NGO サポートファンド　for SDGs　の助成を受けて実施しています

10th anniversary

設立 10 周年記念冊子

人×人

特定非営利活動法人 京都丹波・丹後ネットワーク
2020年9月27日

挨拶

10年を振り返って

顧問（前理事長）　眞下　賢一

2010年6月9日にNPO法人京都丹波･丹後ネットワークを設立し、人とNPO、地域、企業、大学等のネットワークを構築することにより活性化を目指した活動をすることを基本理念として、種々実践をしながら10周年を迎えました。この間、私達の広域的な活動も諸分野で認知されるようになり、「Panasonic NPO/NGOサポートファンド for SDGs」を始めとする様々な助成をいただく中で、今まさに次のステップへと進もうとしております。

思い起こせば、地元のコメの美味しさをPRするため農業生産者達を巻き込んだコンテスト、語学講座、防災実践講座、まちづくり講座等、広範囲に亘り実施した貴重な体験は、決して今後の活動においても無駄にならないと確信しています。

NPO法人は人とのご縁がすべてです。ご尽力を戴いた全てのスタッフ、関連者の方々に、この場を借りまして心より感謝申し上げます。

現在は過去の努力の結果であり、未来はこれからの努力で決まります。新しい体制のもと、更なる発展に向けて、すべての関係者が互いを尊重し、高め合い、自らの社会文化に更に磨きをかけ、地道に頑張って参りたいと思っています。

今後とも一層のお力添えを頂きます様、心からお願い申し上げます。

2030年を目指して　―人々が集う場でありつづける―

理事長　牧　紀男

新型コロナ感染症の影響で「考えている方向性は正しいんだけど、本当にできるのかな…」というようなことが、この数カ月の間にどんどんと実現されている。オフィスに行かずに仕事する、東京に行かなくても済むことが現実となり、地方に住んで働く、地域とともに暮らす、ということが夢物語ではなくなった。京都北部で、自分の思い描く生活をしようと考える人が出てくることは間違いない。また社会を維持する上で「共」の役割は不可欠なものとなっている。京都丹波･丹後ネットワークは「自分が正しい」と考えることを実行してきた人が集ってきた場所であると思っている。考える夢、やりたいことは、人によって異なることが面白い。しかし、つながることで、実現できることは大きくなる。人が集まり、情報交換できる場は、社会にとって不可欠である。かっこよく言うと「サロン」、現実としては居酒屋･スナックである。その道の先輩や、いろいろな夢を持つ人と会える･相談できる、つながる「場」としての“たんたん”として、人々が集う魅力ある場所であり続けることが重要であると考える。

沿革

人と繋がり　人に助けられた　たんたん10年の軌跡

2010年6月9日　法人設立
人と人、団体･企業をつなぐネットワークの構築を目指す

2010
人づくり事業（若者･農業･IT人材育成）
［イベント］― 丹波のお米の食べ比べ（パナソニック協賛）

2011
人づくり事業（若者･農業･IT人材育成）
［イベント］― 福知山･鉄道交流フェスタ2011
［イベント］― おもてなし交流会（福知山から東京に進出したフランス料理店店主のお話）

2012
人づくり事業（若者の農業人材育成）
マネジメント講座･情報発信講座のシリーズ化（中間支援強化）
京都北部地域･大学連携機構との協働事業（丹後の観光地調査）

2013
人づくり事業（若者の農業･観光等人材育成）
京都交通 バスのラッピング等企業のデザイン･HP作成等事業開始

2014
〔8月豪雨により事務所冠水〕
人づくり事業（若者の農業･観光･地域デザイン等人材育成）
8月豪雨災害によるNPO調査と復興イベント2種
［イベント］― Re Smile　福知山の主催
［イベント］― “NEVER GIVE UP 福知山のコーディネート
英語版マップの作製･おもてなし英語･英語でクッキング等企画

2015
災害時連携NPO等ネットワーク設立に関わる（2014年の8月豪雨がきっかけ）
デートDV防止授業講師養成講座等の開催（後の子ども支援につながる）

2016
児童館との協働により外国にルーツのある親子への支援を開始

2017
地域ショップ　たんたん市場の開始
まちづくり講座　たんたんX交差点開始

2018
外国にルーツのある子どもたちへの支援を外国人労働者等にも拡大

2019
NPO、自治会等のBCP策定･防災支援、外国人への防災支援開始
組織基盤強化（パナソニック助成）開始

2020
設立10周年記念式典 &フォーラム実施

たんたんの活動①
外国人＆外国にルーツのある人の支援

私たちは児童館と共に、外国にルーツのある人・子ども、技能実習生や留学生などの交流の場、相談の場を創設してきました。今後は市内全域の外国人や外国にルーツのある人のあらゆる貧困（経済的、文化的、言語的、地域的、心理的〔孤独や孤立〕等）に対応できるような場づくりをしていきたいと思います。

田舎体験

カマヤンパーティー

ワールドクリスマス

茶道体験

泥んこ旗取りゲーム

たんたんの活動②
地域・NPO・外国人等防災　BCP策定支援

自治会やコミュニティに対して、いのちを守るために必要な知識と知恵が楽しく学べる研修を行います。予算に応じて防災BBQも提案いたします。
外国人技能実習生などに対する防災研修及び企業やNPO法人等のBCP策定支援も実施しています。

防災BBQ

ワークショップ①

防災訓練

ワークショップ②

起震車体験

役員紹介

理事長　牧　紀男
京都大学防災研究所　教授

数多くの自治体の防災戦略計画策定、地域防災計画に携わると共に、2004年新潟県中越地震で大きな被害を受けた小千谷市の復興計画の策定・検証や、2011年東日本大震災では岩手県災害対策本部において災害対応時の情報処理支援を行う等、被災地における自治体支援活動を行っている。

副理事長　森田　洋行
一般財団法人社会的認証開発推進機構理事

国立熊本電波工業高等専門学校卒業後、コンピュータエンジニアとしてＮＥＣ関連会社で勤務。独立後コンピュータ関連のサービスを行いながら、地域情報発信として月間「えふ」のインターネット支局長を勤める。また地元の大学を応援する京都創成大学を考える炉端懇談会メンバーとして学生と情報発信事業も手掛ける。

理事　倉本　到
福知山公立大学情報学部　教授

人間とコンピュータや情報機器との関係性に関する研究に従事。日々の生活に豊かさを付加する情報技術（ゲーミフィケーション）に関する研究に加えて、最近では小さなロボットを使った対話システムの研究を行っている。

理事　杉岡　秀紀
福知山公立大学地域経営学部　准教授

専門は公共政策（地域政策）、地域公共人材論、NPO論。大学時代にまちづくり NPO「きゅうたなべ倶楽部」を主宰。その後、内閣官房行政改革推進本部事務局、地域公共人材開発機構事務局、京都府立大学公共政策学部講師を経て、現職に至る。

理事　寒竹　聖一
京都丹後鉄道　代表取締役

日本航空（JAL）、高速ツアーバス連絡協議会事務局長、外資系空港周辺事業会社の日本代表等を歴任後、2016年より現職。鉄道の価値創造、鉄道が果たす地方創生の役割創造に東奔西走中。

理事　土佐　祐司
農事組合法人かわい　代表理事

京都呉服商「矢代仁」入社、アパレル部門「ヤシロネックウエア」出向の後、仕入れ担当としてヨーロッパ派遣。帰郷後は、集落型営農法人「農事組合法人かわい」代表、川合地域環境保全活動協議会代表、NPO法人丹波みわ（三和荘）理事、福知山市農業最適化推進委員等として、現在は農業を基本とする地域活性化に取り組む。

理事　梅原　麗子
元福知山市児童館館長

福知山市役所内の様々な部署で38年間勤務し、終盤には児童館の館長として、外国にルーツを持つ子どもや親の支援活動、多文化交流活動を実施。そのなかで、「国籍やことばの違い、肌の色や文化の違いをみんなが認め合うことで、人々が豊かになれる」地域づくりに努めてきた。これからもちがいを持った誰もが住みやすく生きやすい地域づくりに取組んでいきたい。「みんな笑顔になあれ♡」

理事　森田　浩三
アップルパイの店　シャルム代表

平成14年に「アップルパイの店シャルム」を開業。アート＆クラフト@ふくちやまの実行委員長を務め、アートと手作りの魅力を伝えるイベントに尽力し、イベントを通してまちづくりや地域活性化に貢献。またスイーツフェスティバルを初め、北近畿全域及び高槻の数々のイベントに出店。現在は完全予約 / イベント / ネット販売の3本柱に経営方針を変えフードロスにも取り組む。

監事　加畑　満久

TanTan
Nonprofit Organization

理事　足立　淳子
ふくちやまＣＡＰ　代表

子どもは自然の中で楽しく遊ぶ場、親は安心して子育ての悩みが話せる場が必要であると考え、子どもも親も育ち合う場として「子育て支援グループわたぼうし」を設立。その後、「CAP（子どもへの暴力防止）」の考え方に共感し、「ふくちやまＣＡＰ」を設立。その他、主任児童委員、保護司を務め、子どもが安心して暮らせる社会をつくるために様々な活動をしている。

理事　東家　零子
元近畿郵政局人事部

便局勤務を経て近畿郵政局人事部に異動。阪神大震災により西宮で被災、これをきっかけに生きる意味を問い直し、退職。郵政局でのキャリアを活かすため、社会保険労務士及びＡＦＰの資格を取得。日本福祉大学の通信学部で学び直しを行い、その後京都丹波・丹後ネットワークの設立に関わり現在に至る。地域の良さ、自然の美しさを発信したいと考え、趣味のカメラを活かし、ＳＮＳによって魅力を配信中。

顧問　眞下　賢一
元パナソニック（株）海外部門長

元パナソニック（株）海外部門長、特定非営利活動法人北近畿みらい理事、京都丹波・丹後ネットワークの設立時の理事長。パナソニック（株）に在職中はドイツやアメリカに長期間に亘り現地会社責任者を務める。退職後は京都府地域力再生プロジェクト・アドバイザーを中心に、新たなネットワークを繋ぎ、地域づくりを目指し活動している。